

## 第5学年 学級活動（2） 学習指導案

福岡市立田隈小学校  
栄養教諭 毛利有美子

1. 題材名 「給食のよさを見つけ、自分の行動目標を考えよう。」

### 2. 本時目標

- ・ 健康な体づくりをするためには、好き嫌いなく食べることが大切であることが分かる。  
(知識・技能)
- ・ 自分の生活実態について振り返ることにより、自分の食生活を改善、向上させるためのめあてを意思決定することができる。  
(思考・判断・表現)
- ・ 給食に関係する人の話や友達の発表を聞いて、自分と食との関わりを見直そうとする。  
(主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 題材について

#### (1) 題材観

本題材は、食に関する自分自身や田隈小学校の課題を明らかにした上で、その解決策を考え、意思決定し、実践していくことをねらいとしている。給食や家庭での食事を残さず食べるということは、成長期である児童の健康な体づくりを行う上で重要なことである。そこで給食や食の大切さ・有効性について知り生活習慣を改善することは、将来における健康の保持増進にも大きな役割を果たすと考え、本題材を設定した。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、毎日の給食をよく食べており、完食をすることも多々ある。事前に行ったアンケートでは、「給食が好き」と回答した児童が〇%、「毎日給食を残さず食べている」と回答した児童が〇%いた。しかし、「給食を減らすことがある」と答えた児童が〇%いた。

この結果より、給食が好きで残さず食べている児童もいる反面、給食を減らし本来必要な栄養素を十分に摂取できていない可能性のある児童がいることも分かった。今後、児童が望ましい食習慣を身につけることができるよう、なぜ食事が大切なのかを正しく理解することが必要である。さらに、大人になっていく上で、自分や家族のご飯を準備することができるようになることも大切であると考える。

#### (3) 指導観

本題材の指導にあたっては、まず、なぜ給食があるのか、給食の良さはどういったところなのか、給食に含まれている食材を五大栄養素別にグループ分けをしていく。次に話し合い活動を通し、給食をしっかり食べることに価値があるということをおさえた上で、クラスや田隈小学校の現状はどうなのかグラフや写真から課題を見つける。最後に、今後、自分たちはどのように行動していけばいいのかを考えていく。

#### (4) ESDとの関連

##### ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

有限性…給食や家庭の食事を食べ残すことが普通だと思わない。

##### ・本学習で育てたいESDの資質・能力

###### 協働的問題解決力

残食を減らすのではなく、提供量を全て食べることによって自分たちに必要な栄養を摂ることができ、その重要性を理解した上でどのように行動を変えていったらいいのかを考え行動する。

###### 進んで参加する態度

クラスの給食の残りを減らすために自分にできることを考え、意欲的に関わりを持とうとしたり、考えをつくらうとしたりして、積極的に行動を起こす。

##### ・本学習で変容を促すESDの価値観

###### 幸福であることを大事にする価値観

食べものが何不自由なく食べられることが、幸せなことだと気づく。

##### ・達成が期待されるSDGs

3 すべての人に健康と福祉を

#### 4. 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①日常生活への自己に関する諸課題の改善に向けて、取り組むことの意義を理解している。	①日常生活への自己に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合うことができる。	①自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組もうとしている。
②健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身につけている。	②自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して、実践することができる。	

#### 5. 事前・事後指導

	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
事前	○ 給食アンケートに回答する。 ・ 給食は好きか ・ 毎日給食を残さず食べているか	・ 給食アンケートを作成する。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食を減らすことがあるか</li> <li>・苦手な食材があるか</li> </ul>		
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 給食チェックを行う。</li> <li>・授業後、1週間の給食で自分が決めたルールを守ることができたか、確認する。</li> <li>○ 食育だよりをもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間分の献立を配布し、確認ができるようにしておく。</li> <li>・食育だよりを作成・配布し、家庭との連携を図る。</li> </ul>	

## 6. 本時の展開

展開	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
導入	1 事前アンケートの結果から、本時学習のめあてをつかむ。 ○ 給食が好きな人が多いが、一方で給食を減らす、残すことがあるというクラスの実態を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が自分のこととして、課題意識をもてるようにグラフを提示する。</li> </ul>	ア①
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 給食マイルールを考えよう。</div>		
展開	2 給食のよさについて話し合う。 ○ 給食に入っている材料を五大栄養素別にグループ分けをする。 ○ 自分たちは、どうして毎日の給食を残さずしっかり食べることができているのかを考える。 3 クラスと田隈小全体の給食の残りを知る。 ○ 残った給食はどうなるのだろう？ ○ 給食を残して困るのは誰だろう？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五大栄養素の表を提示する。</li> <li>・「体を成長させ、健康を保つ」という価値に気付くように、児童の健康を考えて献立を立てたり、食材を選んだりしていることを伝える。</li> <li>・クラスと田隈小全体の給食の残りを示したグラフや写真を提示する。</li> <li>・給食を残して一番困るのは、自分自身だということに気付かせる。</li> </ul>	ア②  イ①  イ②
まとめ	4 自分の課題にあった行動目標を意思決定する。 ①ピーマングループ ②トマトグループ ③ナスグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの給食や家庭での食生活を振り返るようにする。</li> <li>・一人ひとりの行動が、田隈小全体の給食の残りを減らす行動につながることをおさえる。</li> </ul>	ウ①